



1月

食育だより

あけましておめでとうございます。

新しい1年が始まりました。今年も調理員と力を合わせて、安心・安全でおいしい給食作りに取り組んでいきますのでどうぞよろしくお願いいたします。



明治22年、山形県の小学校で家が貧しくてお弁当を持ってくることのできない子どもたちへ昼食を出したのが学校給食の始まりとされています。その後、学校給食の取組は全国へと広がりましたが、昭和16年に太平洋戦争が起こり、食料不足のため実施することができなくなってしまいました。



戦後、子どもたちの栄養状態の悪化が心配されたことから、学校給食の必要性が叫ばれるようになり、アメリカの民間団体（ララ）から贈られた物資で給食を再開することになりました。昭和21年12月24日、東京・神奈川・千葉の三都県の学校で試験的に学校給食を再開することになり、給食用物資の贈呈式が行われたこの日を「学校給食感謝の日」とし、冬休みと重なるため、1か月後の1月24日～30日が「全国学校給食週間」となりました。

給食の移り変わり

◆明治22年	◆戦後(昭和25年ごろ)	◆現在

お寺の中に開校された私立忠愛小学校の献立の一例。米飯と野菜や魚のおかずが中心でした。

パン・ミルク・おかずが基本で、外国などから贈られた支援物資の脱脂粉乳や小麦などを使って作られました。

郷土食や行事食を取り入れるなど、バリエーション豊かです。また、バランスの良い食事のお手本となるよう、“教材”としての役割も担っています。

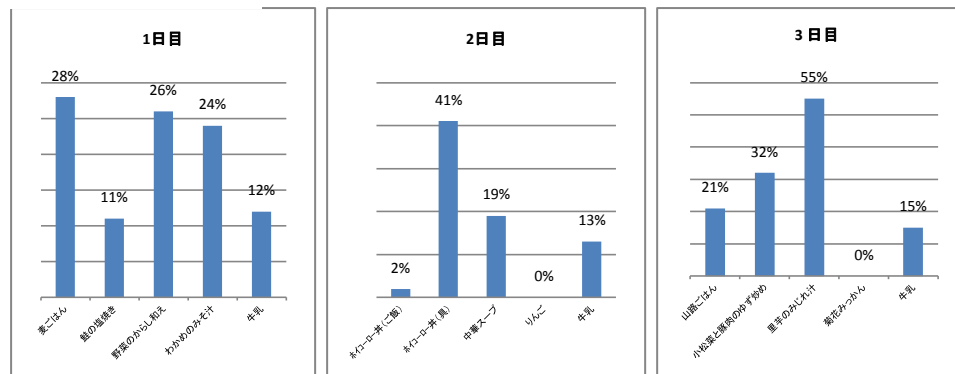
練馬区立全小中学校の小5と中2で「残食調査」および「朝ごはんしらべ」を行いました。その結果をお知らせします。



☆残食調査☆

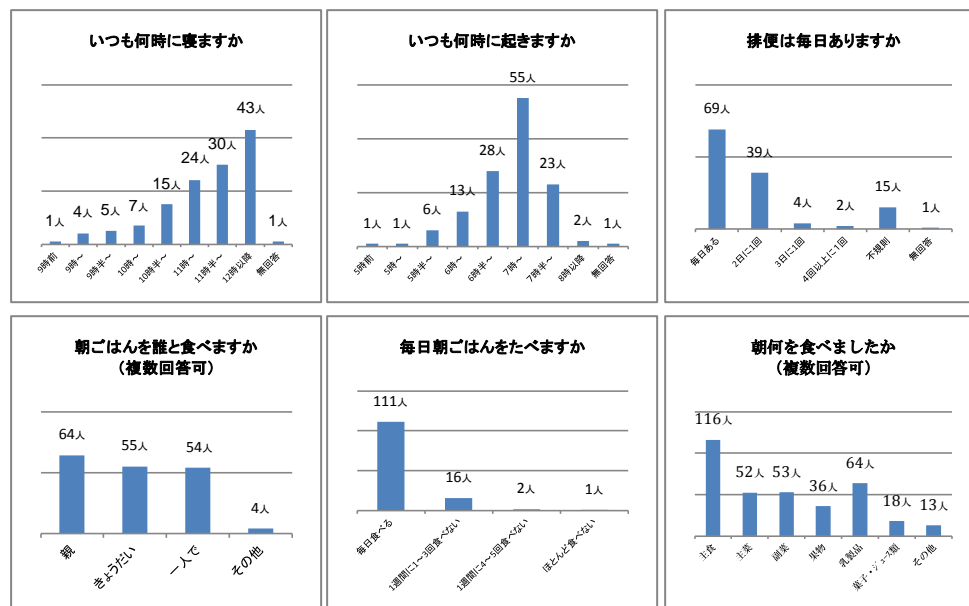
調査期間は11月16日～27日の間で米飯給食の日、3日間です。本校は24日、26日、27日の3日間行いました。

(3クラス合計)



☆朝ごはんしらべ☆

調査期間は残食調査と同じ11月16日～27日の間で、期間内1日です。(2年生134名中130名回答)



結果は、全体的に朝ごはんを食べる習慣ができているようです。これを持続出来るように心がけましょう。

